

# 芙蓉

vol. 56

2017.4月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地

TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119

<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL0545-30-7952



## 「沈丁花に想う」

みぎわ園施設長 佐々木 孝

平成29年度が始まり新入職員の方々が新たな気持ちで社会に飛び立つ今、丁度沈丁花の芳しい香りが漂う時季です。本人も周りも期待と不安そして夫々に夢を抱きながら進もうとしています。

この時季に私事ではありますが、毎年想うのは遠い昔、東京の武蔵野東小金井と言う所へ長い浪々の時を抜け、新たな道に進むと決めた時、下宿の周りに芳しく白い裏地に江戸紫の花弁を纏い小さく固まって咲く沈丁花の香りに心地よさと安堵感を覚えた思い出が蘇ります。この沈丁花は寒い冬にしっかりと花芽をつけ温かい風の雰囲気を感じながら開花させる、室町時代に中国から渡来し根付いたと伺っています。

この時季、希望と将来への夢をもって、そして期待と不安を抱きながら進もうとする新人の方々へゆっくりでもいい、人の温かさを感じながら人への愛情を注いで貰いたいと思うのです。国の情勢に往々に振り回され、制度の改訂や介護報酬内容の変更等、それらの変遷にも相応して変り身をし続ける、しかし変わってはいけない人への関わりに真として愛情を持ちそれを「業」として続ける事を願っています。介護人材の不足が大きく取上げられ、この影響を少なからず受けている私達ですが、より自分の仕事への自信と誇りを持ち続けられるために今一度、沈丁花に想ったあの時を忘れずに、不安と希望抱く方達に「これからだよ」と、沿って行きたいと思うそんな時季です。

## \*みぎわ園\*

こちら、みぎわ園ショートステイです。

ショートステイでは、季節などのレクリエーションはもちろん、個別レクリエーションやグループレクリエーションなど日々を皆様と楽しく過ごしております。今回、掲載させて頂いている写真は新年会と節分の鬼のお面作りです。新年会では、職員による皿回しと、利用者さまと一緒に福笑いや、二人羽織など楽しい時間を過ごされました。

また、個別ケアについても、利用者さまや周囲の方々と連携を図りながら、個々に沿ったケアと生活スタイルに合わせた過ごし方をして頂いております。常に笑顔と笑い声が溢れるショートステイです。皆様が毎日楽しく、安心、安全に過ごせるショートステイになる様、努めてまいります。

尚、見学や相談等、随時受け付けておりますので担当者にご連絡下さい。



## \* デイサービスセンターみぎわ園 \*



恒例の初詣と外食に行ってきました。  
 食べているときのお顔は普段以上に良い顔をしていますこれから暖かくなるので、  
 外食レク等を企画し、外の空気にあたって来たいと思います。

## \* ふようデイサービスセンター \*

今年にはいりまして1月  
 に初詣、2月に節分祭を  
 おこないました。

お参りの前に  
 ハイチーズ!



『富士宮浅間大社に初詣に行きました』



今年も元気に  
 過ごせます  
 ように!



『節分祭で豆まき』



それ!  
 鬼は〜外!

わ〜 早く  
 豆投げなきゃ



## \* みぎわの里 \*



# お正月

あけましておめでとうございます。  
 初詣では新年の無事と平安を祈願しました。  
 その他にも書初め、かるた、福笑いなどの  
 日本文化でお正月を満喫しました。



# 節分

今年も、豆をつ  
 かねで幸せつ  
 かねで、鬼退治!!  
 元気に笑って過  
 ぎします。



## \* ひまわり園 \*



昨年、山田様、富士中央ライオンズクラブ様、まかいの牧場様、フロンティアジャパン様、ワールドメイト様、楽天様から子どもたちに素敵なクリスマスプレゼントを頂きました。子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。ありがとうございました。



このたび「赤い羽根共同募金」から寄付金をいただきました。お礼とご報告を申し上げます。

“赤い羽根”  
ありがとうございました

\* いただいた金額 1,194,000円

\* 使いみち プレハブ式冷蔵庫1台



ひまわり園は、静岡県東部地区のさまざまな理由で保護者と暮らすことのできない2歳からおおむね18歳の子どもたちをお預かりし、安心・安全な生活を保障する中で、子どもたちの成長を支援しています。

子どもたちの生活にとって、安全な食の提供は非常に重要なテーマの1つです。今回購入させていただいたプレハブ式冷蔵庫は、新鮮な食材の提供という面で大いに活躍してくれるものとして期待しています。

募金をくださった多くの皆様の、暖かいお気持ちを胸に大切にに使わせていただきます。

## \*みどり園\*

【1月】

『お正月』お正月に駒づくりや凧あげ、もちつき大会を行いました。初めての体験も多く、とても楽しんで参加していました。



～ありがとう～

株式会社ジェイ・ストーム様から頂いた助成金で、おもちゃや本を購入させていただきました。また、美影館様のご厚意により、個人の七五三の写真撮影をさせて頂きました。ありがとうございました。



【2月】

『節分』「おには～そと、ふくは～うち」新聞紙を丸めたものを鬼に投げつけ退治しました。その後、福の神様からご褒美で、お菓子をもらいました。



『チョコレートフォンデュ』バレンタインデーにちなみ、チョコレートフォンデュを行いました。甘いチョコレートを口にたくさんつけ、茶色いお髭ができました。



【3月】

『園外保育』4つのグループに分かれて、沼津イトーヨーカドー、富士宮浅間神社、アピタなどへ園外保育に行きました。



富士宮浅間神社では大きな鳥居を見たり、お賽銭を入れてお願いをしました。

富士宮イオンのゲームセンターでお店屋さんごっこもしました。お寿司屋さんとっても合ってるね!

アピタでは、大きな滑り台を滑ったり、アンパンマンの乗り物に乗って遊びました。オヤツには、アイスを食べました。冷たくておいしいね!

## \*ひろみ\*



先日行われた静岡県児童福祉施設冬季球技大会(サッカー)で、ひまわり園は小学生(男子、女子) 中高生(男子)の全ての部門において優勝することが出来ました。ひろみの小学生女子2名も試合に出て、少し優勝に貢献しました。なかなか本園の子ども達と触れ合う機会が少ないのがグループホームの課題ですが、この大会を通して仲良くなれました。祝勝会ではみんなで楽しく焼肉を頂きました。



## 「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

## 「子どもとお年寄りの幸せのために」

今日、急速な少子高齢化などにより、福祉ニーズが多様化・複雑化していく中、平成28年に社会福祉法が改正されました。これは社会福祉法人が、より公益的な組織として機能し社会からの更なる信頼を得ることを目的としたものであり、福祉サービスの担い手である社会福祉法人が果たしていく役割は益々重要になっています。

今年度、創立114年を迎える芙蓉会としては、社会福祉法人が備える公益性や非営利性に見合う経営を一層充実させるために、財務規律の改定、各法人役員の新選、定款等の変更を行い、本来の役割である地域社会への貢献に努めます。

また、施設運営では児童施設及び高齢者施設職員の待遇改善を行うと共に人材育成に努め、法人創立の理念「隣人愛」の下に、利用される方々へ安心・安全な質の高いサービスを提供します。

### 「法人本部」

2016年4月1日から「社会福祉法等の一部を改正する法律案」が施行なりそれに基づき、社会福祉法人芙蓉会が地域社会との信頼関係を構築し、更なる質の向上とガバナンスを高めていくことが重要であり、法人理念の下、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理(人材育成、職場環境の整備)、地域貢献活動の実践を推進して参ります。

今回の改正法では、「社会福祉法人制度の改革」と「福祉人材の確保の促進」が主であり、その中でも最も大きな改正である「社会福祉法人制度の改革」では、評議員会の必置と議決機関化及び役員・評議員の損害賠償責任の明確化や罰則の強化が図られたことを受け、役員への訴訟リスクに備える損害賠償責任保険加入を考へております。なお、法人統一による保険加入により事務手続きの簡略化と経費削減を図って参ります。また、児童養護施設と乳児院では同一の栄養管理ソフトを使用しておりますが、29年経過しパソコン機器との不具合等が発生することがあり法人統一で購入を検討し、経費削減等を考へております。

次の改正点であります。「福祉人材の確保の促進」に伴い、給与の見直し(俸給表の全面改正、措置施設と指定介護事業所の区分化)を図り職員の人材確保に努めて参ります。

最後に、昨年に続き新任職員研修で外部講師(坂倉裕子氏)による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学びます。更に今年度は、中堅職員研修「ユニットリーダーに求めるもの(仮題)」を秋に外部講師(坂倉裕子氏)により2回開催し、職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。

### 「児童養護施設 ひまわり園」

平成28年に児童福祉法の一部が改正されました。その要旨として「児童の権利に関する条約」(1994年批准)の精神である「児童が権利の主体であること」「児童の最善の利益が優先されること」などの理念の明確化、「児童虐待について発生予防から自立支援までの一連の対策の更なる強化」などが示されています。

児童養護施設入所児童の半数以上が被害待児である現在、従来の「家庭代替機能」から「治療的支援機能」へと児童養護施設に求められる役割も変化しつつあります。

その理念の下、国は社会的養護の政策として、養子縁組や里親委託の拡充、児童養護施設の小規模化、地域分散化を進めようとしています。

ひまわり園では平成13年より「地域小規模児童養護施設ひろみ」を開設し、地域の中での少人数の「普通の暮らし」を目指してきました。また、本体施設においては従来実施している縦割りユニットでの養育体制に加え、平成28年度より定員8人の「小規模グループケア」を1ヵ所開設し、時局に鑑みながら徐々にではありますが歩を進めているところであります。

平成29年度は国が示す「小規模化による個別支援の充実」に向けて、定員を90名から75名へ変更することになりました。現状の職員数を維持しながら児童の定員数を減らすことにより職員の配置基準を「児童:職員」=「4:1」に設定し、より良い支援を実現していくための条件整備を進めていくことを目的としています。それでも小規模グループケアを除く5つのユニットの上限が15人から13~14人になる程度のもので、小規模化にはほど遠い状況であります。今後は更に小規模グループケアの増設と地域分散化を計画的に進めていかねばなりません。小規模化、地域分散化は「職員の勤務が圧倒的に単独勤務の時間が増える」「緊急時他の職員の応援をタイムリーに得にくい」などのリスクを伴います。29年度は、支援内容の可視化、職員の孤立を防ぐための方策、職員個々の技能向上などの課題にむけた研修や検討を進めていくよう努めます。また、児童養護施設は「支援の個別化」を求められていますが、家庭にはない集団性のメリットも再確認しながら、今後の児童養護のあり方を模索していきたいと考えます。

近年、ひまわり園に入所している児童の中で中高生の占める割合が大きくなってきています。過去10年の経過を見るとその傾向は顕著で、入所児童の4割を越えるほどになっています。思春期の子どもたちにとっては進路選択や家庭状況の理解を通して、自身の生活や将来のあり方を模索する時期であり、自我同一性の確立に向けた重要且つ不安定な年代であるため、支援のあり方は大きな課題となります。29年度は、高齢児の支援についての振り返りと今後のあり方について職員間で検討し、共通認識をもち、子どもたちの個別課題を整理しつつ、支援に活かすよう努めます。

高校卒業後の進路として、大学等への進学も徐々にではありますが実現しています。しかし、依然として経済的な面では大きな課題があります。勉学と部活動に努めてきた児童が進学を希望する場合、授業料など高額な費用をまかなうことは不可能で、様々な「給付型奨学金」を獲得する努力をしています。日本学生支援機構も「給付型奨学金制度」を新設することが閣議決定しましたが、十分な支援とは言えません。芙蓉会でも平成23年に「植松茂子奨学金基金」が設けられましたが、過去の失敗事例からリスクの高さが浮き彫りとなり、現実的には活用しづらい

状況にあります。この点に関しては法人内でも今後検討したいと考えています。また、生活様式も高校生までとは大きく変わるので現在は高校生寮を利用していますが、女子限定であるため男子進学者への対応などの環境整備も今後検討していきたいと考えます。

### 「地域小規模児童養護施設ひろみ」(ひまわり園加算事業)

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿ったサービスを提供することを目指します。今年度は高校3年生の女子児童が2名おりますので、本人や家族などとよく話し合い、各関係機関の協力を得ながら、希望の進路に進めるよう支援していきます。小規模施設の利点を生かし、子ども達が安定した生活が送れるよう十分配慮していきたいです。

ひろみを自立後、生活が安定しない卒業生もおりますので、アフターケアについても具体的な計画を立てて、積極的に実施していきたいです。また各施設、家庭的養護推進計画を進めていかなければならない中、先駆的に地域小規模施設を運営してきたひまわり園に情報提供を求められることが多くなると予想されます。ひろみが今まで培ってきた実践的な知識や運営システムを、研究会や施設見学等を通して、積極的に発信していくことで、他施設や関係機関に対しても協力していきます。

平成29年度は本体施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

### 「恩賜記念みどり園」

児童福祉法の改正に伴い、国や地方公共団体の責務として、児童が健やかに養育されるように、「家庭と同様の環境における養育の推進」について法文に明記されました。これは、児童が家庭において健やかに養育されるように保護者を支援し、家庭における養育が適当でない場合は、「家庭における養育環境と同様の養育環境」において継続的に養育されるよう必要な措置をとることとされています。家庭と同様の養育環境とは、養子縁組や里親、里親ファミリーホームのことを指し、地域小規模児童養護施設や、分園型小規模グループケアは家庭的環境として分類されますが、施設内での小規模化や、小規模グループケアはあくまでも社会的養育として捉えられ、施設での養育は小規模化しても家庭的ではないとされています。児童福祉法の制定される以前から、家庭に恵まれない乳幼児を24時間態勢で守り続けてきた先達からの伝承を基に作り上げられた、現在の乳幼児の施設養育は、養育形態や、支援内容、支援対象までも見直すことが求められています。

このため、平成26年度に策定した家庭的養護推進計画に必要な修正を検討し、社会福祉法人芙蓉会創立の理念「隣人愛」の精神等を基に、子ども達の安心や安全を担保した、「子ども主導の心を育てる養育」を主題に、別添え資料の通り事業を進めます。また、定員は乳児30名ですが、入所児童の減少から暫定定員24名での事業が予想されるため、必要に応じて積立金を取り崩しての事業を実施します。

最後に、築40年が経過した園舎の建て替え計画作成のための情報収集を行い、乳幼児の健全育成を目的として実施しているショートステイや、赤ちゃん110番電話相談事業の他に当園で実施可能な地域貢献事業や、新規事業について検討し、実現できるように努力します。

### 「特別養護老人ホームみぎわ園」

平成29年度に向けて、一つには社会福祉法の改正に伴う事業等の「見える化、見せる化」があります。この前提に立って、法人ガバナンスの強化、強いてはコンプライアンスの充実が重要になってきます。また今年度は、3年ごとに改正される介護保険報酬改定の最終年ではあります。厚労省は介護人材の不足、介護従事者への処遇補償などとして改定の前提として1.14%の介護者処遇改善加算の一部改定の実施を行います。当然この事を受け何らかの措置と見える化を図る必要があり、加えて介護利用の自己負担3割とする負担導入の問題も提供者側に信用と信頼の責任が不可欠となり、これらの充実こそが見せる化であると考えます。地域に目指す介護事業者として真の介護力が試される年でもあります。

幸い10%消費税導入は1年先送りとなり、経費勘定の経過を見定める1年を与えられた感があり、中期介護保険事業構想のしつかりとした足掛りを組む年度でもあります。

様々な変化する介護保険業界において、国家財政と連動したこれらの施策情勢の下、いかに地域に有って事業継続を図り、いかに展開し進めるかが強いのは次世代、2025年問題への解決の糸口になると考えます。自立支援から自己実現への介護、この転換を模索し研究しながら職員が一丸となって次のステップアップを図る事業展開、人材の確保と育成が求められる重要な年であると思えます。



# ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。(敬称略)

(株)アオノ、(株)東食品、青野之映、青山百合子、株式会社A DEKA、(株)アパマンショップネットワーク  
(株)安納スウィーツファーム農業生産法人、伊藤さかえ、(株)井上建設 堀内利行、いいずみファミリークリニック 飯泉哲哉  
伊藤会計事務所 伊藤芳亮、石田喜子、伊東真由美、市川博雄、小穴菅登、太田智、小笠原弘子、沖本洋子・富夫  
落合 理、門司一徹、(株)角山、川島泰彦、梶本直正、金子圭介、神楽サロン(有) 代表取締役 奥山秀朗、勝亦ふみ代  
株式会社カミオ、株式会社かつまた 代表取締役 勝亦弘次、カーブス富士今泉、カーブス富士天間、カーブスマックス  
バリュ八幡町店、カーブス富士吉原、協栄空調(株)、菊池光男、久保田浩造、栗山恵吉、(株)小林園、小西徳三  
斉藤斗志二、サンコー防災(株)、佐藤昌之、佐野瑞月、里田康仁、静岡恵明学園、白井ひろみ、志藤好彦、杉山富栄  
杉山幹根、鈴木重勝、須藤和夫、鈴木庸由、谷本志保、田中薬品(株)、立石法律事務所 立石健二、高橋八ヤ  
(株)大松園 渡井清視、月岡医院 月岡米子、土屋医院、伝心寺、(株)TOKAI富士支店、戸巻紀美子、中野充世志  
内藤恵美子、内藤好彦、内藤順敬、納得住宅工房、行木秀和、日本ベビーフード、肉の栗清、日本出版株式会社  
日本放送協会静岡放送局 局長 桜井茂樹、株式会社日本教文社、布田保孝、野村幹三郎、浜田隆彦、林 安子  
長谷川修治・妙子、十升優子、パークレイズ銀行 福田京子、平林さち子、東国久保町内会、平山忠夫  
NPO法人ふじのくにハーモニー、富士製パン(株) 加藤秀治、富士信用金庫今泉北支店、富士防犯協会、藤巻利治  
古藤美津子、富士地区学校生活協同組合、富士警察署地域安全協議会、藤田洋子、本多良和(静岡労務経営研究所)  
ほっともつと、松本玲子、松本芳泰、馬飼野牧場 ウールクラブ、マルハン鷹岡店、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団  
株式会社まるか久保屋、緑ヶ丘園芸、美濃部みどり、妙立寺、目黒弘子、メグミルク富士販売店  
ヤマグチ電機(株)、ヤクルト吉原センター、山田賢一、(株)ゆとり、NPO法人ゆめ・まち・ねっと 代表 渡部達也  
輸入菓子食品卸(有)エイアンドエイ、吉原小学校一同、楽天株式会社CSR部、渡辺 孝、渡邊みつ子、渡辺静男  
渡辺千恵子、ワールドメイト横浜エリア本部 (H28.11.18~H29.2.28)

## 寄付のお願い

いつも社会福祉法人芙蓉会にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

芙蓉会は、1903年に「隣人愛」を精神として創設者であります渡辺代吉氏により、芙蓉会の前身であります「富士育児院」を創設いたしました。その後、地域社会のニーズと共にあゆみながら乳児院、児童看護施設、老人施設等をもって応えて参りました。

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店  
預金種目 普通預金  
口座番号 0817169  
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 戸巻芙美夫  
シャカイフクシホウジンフヨウカイ  
リジチョウ トマキフミオ

## 後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円 会 社 } 1□ 3,000円  
個人会費 } 1□ 1,000円 団体会員 }

### 振込先 (郵便局振替口座)

・口座番号 00880-0-2423 ・口座名称 芙蓉会后援会

何□でも  
結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちよ銀行  
店名 O八九店  
預金種目 当座  
口座番号 0002423  
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

## ご寄付を いただきました

株式会社コヤマ・ミライ工様、藤栄堂様から生ロールケーキの寄付を頂きました。生ロールケーキのおいしさに子どもたちは、大満足でした。ありがとうございました。



株式会社コヤマ・ミライ工 (伝法1668-47)  
代表取締役 小山 武様  
有限会社藤栄堂 (伝法3087-2)  
代表取締役 瀧 茂様

## 編集後記

暖かく穏やかな季節がやってきました。春といえば？皆さんはどのようなことを思いますか？

お花見、卒業、入学式、感謝の気持ちを伝えるなど、春は他にもたくさんのお祝い浮かべられる季節ですね。新たな気持ちで平成29年度をスタートしていきましょう。今年度もよろしくお願い致します。